



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
国連世界観光機関駐日事務所

2018年1月26日

国連世界観光機関 (UNWTO)
世界観光指標 (World Tourism Barometer)

2018年1月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。
世界観光指標原文（英語）は、UNWTO 本部での準備完了次第、
下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

2017年の国際観光実績：過去7年で最高に

PR No.: PR 18003

2018年1月15日

最新のUNWTO世界観光指標によると、2017年の国際観光客到着数は、7%の目覚ましい成長により、世界全体で13億2,200万人に達した。この強い勢いは、2018年においても継続し、4~5%の成長が見込まれている。

世界各地のデスティネーションにより報告されたデータを基にすると、2017年の世界全体の国際観光客到着数(宿泊をとまなう訪問客)は7%増加した。これは2010年以降継続している成長率4%以上の着実なトレンドを大きく上回り、過去7年間で最高の実績となった。

成熟した市場であるヨーロッパは、地中海のデスティネーションに牽引され2016年の国際到着数を8%上回る著しい結果となった。アフリカは2016年のから回復し8%増加し、アジア・太平洋は6%の成長を記録し、中東は5%、米州は3%の成長となった。

2017年の特徴として、多くのデスティネーションにおいて成長が持続したことで、昨年減少に苦しんだ地域においても着実な回復が見られた。この実績は、世界での

景気の回復および従来の送客市場（ソースマーケット）ならびに特に過去数年間に減少していたブラジルやロシア連邦などの新興国・地域からのソースマーケットからの観光支出の回復による堅調なアウトバウンド需要により形成された。

UNWTO のズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「国際旅行は堅調に成長を継続し、観光部門は経済の開発にとって重要な推進力であることを証明した。世界第3位の輸出部門として、観光は世界中で雇用創出および地域の繁栄のために不可欠な存在となっている」と述べた。また「我々は、持続可能な開発目標に沿って、観光の成長が受入れ地域の人々に恩恵を与えることができるように緊密に連携しなければならない」と続けた。

2018 年も成長が続く見込み

昨今の堅調な勢いは、2009 年の経済金融危機以降 8 年連続で着実に増加しており、2018 年は持続的なペースで成長が続くと見込まれている。昨今のトレンドおよび経済展望ならびに UNWTO 専門家委員会の見通しを基に、UNWTO は 2018 年の世界全体の国際観光客到着数が 4-5%成長するものと予測している。これは、UNWTO の 2030 年長期予測における 2010 年から 2020 年の年平均 3.8%を若干上回ることになる。ヨーロッパおよび米州はともに 3.5-4.5%、アジア太平洋は 5-6%、アフリカは 5-7%、そして中東は 4-6%の成長が見込まれている。

2017 年の UNWTO 地域別実績

2017 年のヨーロッパにおける国際観光客到着数は、6 億 7,100 万人に到達し、幾分弱含みであった 2016 年から 8%増の著しい結果となった。この成長は南・地中海ヨーロッパ(+13%)に牽引され、西ヨーロッパ(+7%)、北ヨーロッパおよび中央・東ヨーロッパ(ともに+5%)も堅調であった。アジア・太平洋(+6%)は、2017 年に 3 億 2,400 万人の国際観光客到着数となった。到着数は南アジアで 10%、東南アジアで 8%、オセアニアで 7%成長した。北東アジアの到着数は 3%増であった。

米州(+3%)は 2017 年に 2 億 700 万人の国際観光客を迎え、ほとんどのDestinyネーションで増加となった。南アメリカ(+7%)が成長を牽引し、中央アメリカおよびカリブ海(ともに+4%)がこれに続き、後者ではハリケーン・イルマおよびマリ

アによる災害からの明確な回復の兆候が見られた。北アメリカ(+2%)では、メキシコおよびカナダの堅調な結果とは対照的に、同地域最大のデスティネーションである米国で減少が見られた。

アフリカは利用可能なデータを基にすると、2017年の成長は8%と見込まれている。同地域は2016年から立ち直り、6,200万人の国際到着数を記録した。北アフリカは到着数で13%成長し、強靱な回復を見せたが、サハラ以南のアフリカは5%の増加となった。

中東(+5%)は、いくつかのデスティネーションにおける持続的な成長およびその他の力強い回復により、2017年の国際観光客到着数は5,800万人となった。

注：本発表のいかなる実績は、世界各地のデスティネーションから報告された予備的データおよび欠損データのUNWTOによる推計を基にしている。UNWTOでは今後もデータ収集を継続し、国別のさらに総合的なデータを4月発行のUNWTO世界観光指標で発表する予定です。アフリカおよび中東の実績は、利用可能な限定的なデータを基にしており、利用の際はご留意願います。

関連リンク：

UNWTO 世界観光指標

<http://mkt.unwto.org/barometer>

UNWTO Tourism Highlights, 2017 Edition

(2016年通年の観光動向をまとめた資料となります。)

<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights>

持続可能な観光国際年

International Year of Sustainable Tourism for Development 2017

<http://www.tourism4development2017.org/>

インフォグラフィック

<http://media.unwto.org/content/infographics>

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

○お問い合わせ先(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム

E-mail: media1@unwto.org

※本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は

国連世界観光機関駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：吉田、村田

電話：0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org